

死刑を求め犯罪を行う現実への考察

黒田インターナショナル

黒田 毅

これは、生きることができず、死を要求することなのである。社会がこれらの存在へ生活の許容を与えないことの意味であり現実である。これはこれらの存在への否定でなく、社会への否定を要求すべきである。

これは全ての人々への生活の供与と人道的な自己環境の供与を行うことは、政治の義務であり、それらは解決を可能とする。

またこれらへの考察は、人道的な社会と現実への転換を必要とし、人道性における社会と生活の共有は、これら誤りへの判断を社会が共有し、個別現実への判断と解決を求めなくてはいけない。

これは善という価値観における否定でなく、是非でなく、人道性における生活の供与を合意しなくてはいけない。

これは過去が、善と否定、排除という現実においてこれら存在を排除否定することにおける現実であるならば、人道性における政治の合意と判断は異なる現実を世界へ与えるのである。

これらは必ず社会が偽善性を求めなくことへの判断を要求し、これら偽りに隠れる犯罪者たちの摘発を求める。